

外部刺激を感じやすくなっている敏感肌へ、こすれに強い防御力を。 紫外線や空気中の汚れなどのダメージからしっかりと守る日やけ止めクリーム

『プロテクター センシティブex』
2025年3月10日（月） 発売

イプサは、角層が乱れ、紫外線によるダメージなどを受けやすくなっている敏感な肌を取り巻く環境に着目。

肌のバリア機能*が低下した肌へ、スキンサポート成分（保湿成分）配合のしっとりとしたやさしい使い心地と、肌への密着性が高く、こすれてもUV防御効果が低下しにくい肌にフィットするポリマーを配合し、こすれに強い設計の日やけ止めクリーム「プロテクター センシティブex」を発売します。

敏感な肌は、角層が乱れた状態になっており、肌のバリア機能が低下しています。それにより、外部からの刺激を受けやすく、乾燥などの皮ふトラブルを起こしやすいと考えられます。そうしたバリア機能が低下し、ダメージを受けやすくなっている肌を多角的に守ることに着目。

本製品は、肌あれやバリア機能低下の要因となりうるチリやホコリ、花粉の付着を防ぐとともに、こすれにも対応。さらに、敏感な肌にも心地よい、保湿クリームのようにしっとりとしたうおいを感じるなめらかな使用性を実現しました。

ゆらぎやすい敏感肌を捉えた低刺激・無添加設計とこすれに強い防御力で、外的要因によるダメージから肌をしっとりとしたテクスチャーでやさしく、しっかりと守る日やけ止めクリームの登場です。

* 肌の持つ防御機能の1つで、角層がバリアゾーンとなって、外界からの異物の侵入を防ぎ、肌の内部を守る機能



写真：プロテクター センシティブex

商品概要

- 名称：プロテクター センシティブex
- 容量：30g SPF30/PA+++
- 価格：税込4,070円 ※希望小売価格（本体3,700円）
- 発売：2025年3月10日（月）

採用技術

紫外線から肌を守る
SPF30 PA+++

グルタチオン・グリセリン（保湿成分）配合

スキンサポート成分（ラウロイルグルタミン酸ジ（フィトステリル／オクチルドデシル））
（保湿成分）配合

無香料・無着色
鉱物油・紫外線吸収剤・アルコール（エタノール）・パラベンすべて無添加

敏感肌の方の協力によるパッチテスト済み
※全ての方にしげきがないわけではありません
ノンcomedジェニックテスト・アレルギーテスト済み
※全ての方にニキビができない、アレルギーが起きないというわけではありません

本件および貸出に関するお問い合わせ先

株式会社イプサ PR担当（ipsa-pr@ipsa.co.jp）

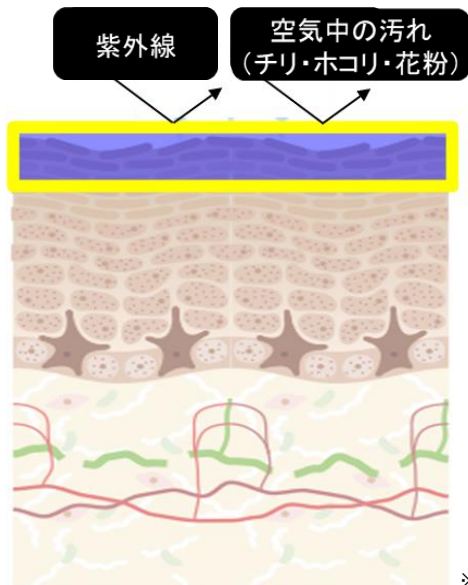
〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-16 TEL:03-3405-2432(PR直通)/URL:www.ipsa.co.jp

読者からのお問い合わせ先：イプサお客さま窓口 0120-523-543

□ 中味設計

採用技術①

低刺激設計でありながらも、保湿成分配合により、しっとりとした肌当たり。さらに、紫外線だけでなく、空気中のチリやホコリなど汚れの付着からもブロックし、外的要因によるダメージから肌を守ります。



※イメージ図

■紫外線・空気中の汚れから肌を守る

- ・紫外線(UV-A、UV-B)などダメージ要因をブロック
- ・保湿クリームのようなしっとりとしたやさしい使い心地
- ・耐こすれ技術搭載
- ・SPF30 PA+++

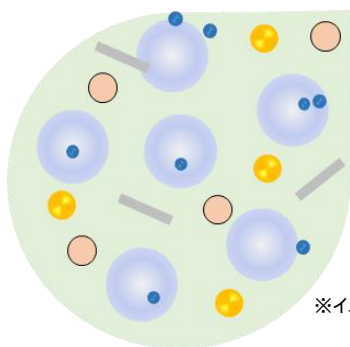
■低刺激・無添加設計

無香料・無着色
鉱物油・紫外線吸収剤・アルコール(エタノール)・パラベン
すべて無添加

採用技術②

【肌にフィットするポリマー配合】

肌への密着性が高く、こすれてもUV防御効果が低下しにくい設計を採用。

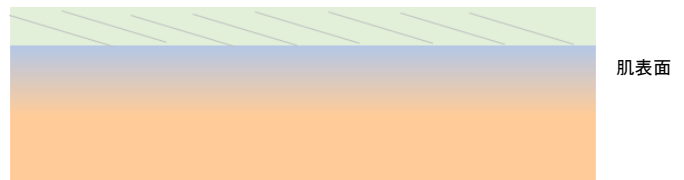


※イメージ図

- オイルベース (揮発性オイルも含まれる)
- ウォーターベース
- アミノ酸系オイル
- 美容成分、うるおい成分
- 肌にフィットするポリマー
- 紫外線防御成分

塗布後の肌断面イメージ図

- ①塗布後に揮発するオイルがベタつかず、必要なうるおいだけが肌上にしっかり残る**クリームのような使用性**を実現。
- ②**肌にフィットするポリマー**を配合することで、肌上に残ったオイルの密着感がアップ。



肌表面

※十分な紫外線防御効果を得るために
汗をかいたり、タオルで拭いた後などは必要に応じて塗り直してください。

□ 使用方法

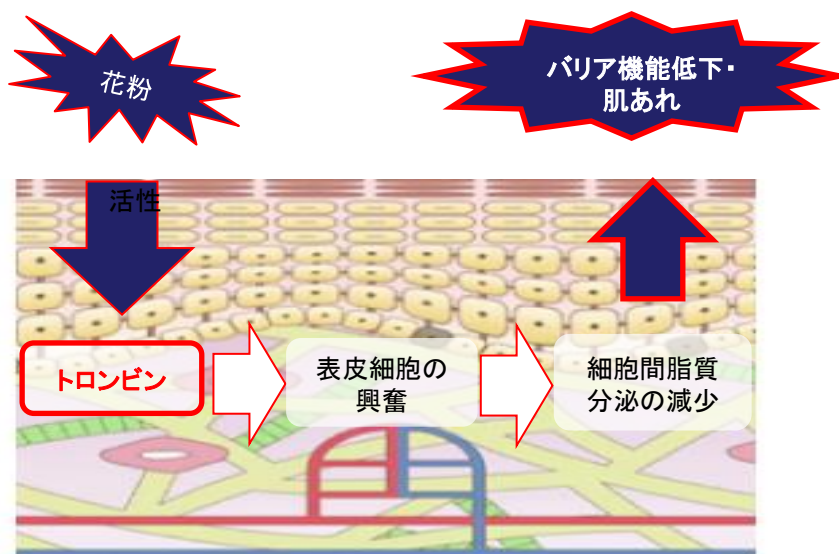
- ・朝のお手入れの最後にご使用ください。
- ・指先にパール粒1こ分をとり、顔全体にムラなく、いねいになじませてください。
(ファウンデーションをお使いにならない場合は、もう一度同量を取り、重ねづけします。)
- ・使用量が少ないと、十分な紫外線防御効果が得られません。
- ・汗をかいたり、タオルで拭いた後などは必要に応じて塗りなおしてください。

※商品のSPF表示及びPA表示は、SPF試験法に定められている塗布量1cm²あたり2mgを皮ふに塗布して測定した結果です。

□花粉※による肌ゆらぎとバリア機能低下

花粉の影響により、バリア機能の低下や肌あれにつながるたんぱく質(トロンビン)が活性化してしまうことに着目。

花粉によるバリア機能低下のメカニズム



※トロンビン・・・バリア機能の低下及び肌あれにつながるタンパク質
※花粉・・・スギ花粉に含まれる抗原タンパク質“Cryj1”